



県内首長インタビュー③7

ふじみ野市 高畑 博 市長(54歳)



11万人の市民がひとつの家族のような「あったかいふじみ野市」の実現に向け市政に臨む高畑市長

■2つの魅力あるまちの融合から10周年

ふじみ野市は、平成17年に当時の上福岡市と大井町の合併で誕生し、本年10月1日で10周年を迎えます。都心から30km圏に位置し、他の近隣市町村と同様に、ベッドタウンとして栄えてきました。

かつて新河岸川の「福岡河岸」に3軒の回漕問屋が開かれるなど、舟運の拠点として発展した上福岡市は、高度経済成長期には、東武東上線上福岡駅の西側に霞ヶ丘団地(1,793戸)が、駅東側に上野台団地(2,080戸)が相次いで建設され、県内初の1,000戸を超える大型団地として注目を集めました。東武鉄道は上福岡駅の利用者急増により、東武鉄道初の橋上式駅舎に改築しました。

一方、江戸時代に川越街道の宿場町として



福岡河岸記念館(市指定文化財・福田屋)。館内では新河岸川の舟運の舟問屋の様子が再現され、展示室では舟運と問屋の暮らしなどが展示されています。また、離れは明治期の木造3階建てで、県内で現存する唯一の建造物です。

栄えた大井町も、高度経済成長期には工場誘致や団地・住宅建設が進み、平成5年には東武東上線ふじみ野駅が開業しました。また、大型マンション建設等の相次ぐ開発により、人口増加率県内一位、全国町村人口密度日本一という記録を残しています。

■恵まれた住・交通環境での子育て

ふじみ野市は、土地区画整理事業や再開発事業によるまちづくりを進めながらも、武蔵野の雑木林や新河岸川周辺の斜面緑地、農地などの豊かな自然が分布しています。また、東武東上線と東京メトロ有楽町線、副都心線の相互乗入れや、東急東横線、横浜高速みなどみらい線の直通運転により、横浜まで乗換えなしで行けるなど、この数年で、都心部への通勤・通学、買い物などのアクセスが大変便利になりました。

このような恵まれた住環境・交通環境のほかに、ふじみ野市は子ども優先、安全・安心のまちづくり等も進めており、若い世代が移住して人口も増加しています。市ではこうした若い世代に向けて、子育て支援にも力を入れており、市内の全小中学校や保育所の耐震工事はもちろん、待機児童ゼロを目指し、民間保育所を積極的に誘致し、本年度は3園、来年度は4園の開所を予定しています。また、発育発達が心配されるお子さんに、早期相談・支援を実施するため、デイサービスや相談支援、療育を一貫して行う「児童発育発達支援センター」を本年4月に開設しました。

ふじみ野市のHPには、育児を応援する行政サービスサポートガイド「ママフレ」が開設されています。プレママ・パパに向けて、妊娠から子育てまでのさまざまな情報が発信されて、子育て世代の強い味方となっています。

こうした子育て世代が増加する一方、高度



宣言文プレートの前で。左から「けんこう大使」のふじみん、高畑市長、石川元気・健康づくり推進市民会議会長、大槻同副会長。

経済成長期に建設された団地に定住した住民の高齢化に伴う世代間の階層化が進んでいます。今後は少子高齢化に対応したまちづくりを総合的に進めるため、世代間交流を通じた「あったかいふじみ野市」を目指し、さまざまな事業を展開していきます。

■原点は市民の命を守ること

ふじみ野市では本年1月5日に「元気・健康都市宣言」を行いました。家庭や地域、行政が相互に協力し合いながら、自身の状況にあった健康づくりを進めることを目指すものです。市として健康づくり事業をより一層推進していくために、子どもから高齢者まで全ての市民がわかりやすく親しめるように、「ふ・じ・み・の・し」のそれぞれの文字から始まる5つの宣言となっています。

就任2期目の高畑市長は、「政治と行政の原点は市民の命を守ること」をスローガンとしています。昨年度は、「災害に強いまちづくり」をテーマに56回のタウンミーティングを開催し、参加した2,500人近い市民から多くの貴重な意見が寄せられました。平成24年度からは、毎年「総合防災訓練」を実施し、多くの市民参加が見られる中、災害に対する意識・関心が非常に高いことがわかり

ふじみ野市の概要

人口 (H27年埼玉県町(丁)字別人口調査)	111,921人
世帯数 (同上)	48,719世帯
平均年齢 (同上)	44.3歳
生産年齢人口比率 (同上)	62.6%
面積 (H26年全国都道府県市区町村別面積調)	14.64平方キロメートル
名目市内総生産 (H24年度市区町村民経済計算)	2,497億9,400万円
事業所数 (H25年工業統計)	106事業所
製造品出荷額等 (同上)	988億4094万円
事業所数 (H24年経済センサス)	3,139事業所

－ 元気・健康都市宣言 －

- ふ** 普段から生活リズムを整え ころもからだも元気に暮らします
- じ** 地元の野菜を取り入れて バランスの良い食事を楽しみます
- み** 未来の自分と家族のために 健康診査を受け健康管理に努めます
- の** のびのび・いきいきと 自分にあった運動やスポーツに親しみます
- し** 生涯しっかりとかめるように 歯と口の健康づくりを心がけます

ました。今後も市民に広く防災を訴えて、「災害に強いふじみ野市」を推進し、PRしていく予定です。

■オールふじみ野未来政策会議

ふじみ野市では、平成25年より全国に先駆け、無作為抽出により選ばれた市民による政策検討会議を実施しています。これは協働という視点から一步ステップアップした「行政パートナー」確立への取り組みです。行政課題の解決に向け、その手法や方向性を議論するだけではなく、市民自らがその担い手を目指していくというものです。昨年度は、市民メンバーが老朽化した公共施設の修繕費用等、施設の維持に伴う財政負担や運営経費を検討テーマに、6回の検討会を重ね、最終的には、適正な受益者負担のあり方について公開討論会を行いました。



市民メンバーが検討してきた結果を発表し、来場者との意見交換も交えながらよりよい施策案を検討しました。

この未来政策会議は、地域や市全体の課題について、よりよい施策立案に繋がるための未来志向の会議となっています。会議終了後のアンケートでは、「市政に対する関心が高まり、市の課題を検討することについて有意義」との回答が多く、また、会議の中でも建設的な意見も数多く寄せられました。市では、今後も継続的に会議を開催し、市民一人一人が今後のふじみ野市について考える機会を設けたいと考えています。